

令和5年度「下水道河川工事安全旬間」安全パトロール

本格的冬を迎え工事現場9か所を巡回し 安全管理の確認と事故防止の呼びかけ

札幌市下水道河川局工事安全推進委員会（委員長：佐藤洋一事業推進部管路担当部長）は、11月1日（水）市内9か所の工事現場を巡回し安全管理等の点検を行った。

この安全パトロールは、11月に入り気温が低下し日照時間も短くなっており、工事現場も厳しい環境になっ

てきたことや本格的冬を迎えることから、11月1日～11月10日の期間を「下水道河川工事安全旬間」と定め、啓発文書の配布などで現場作業の安全への注意喚起と意識高揚を図り事故を未然に防ぐことを目的に例年実施している。

今回は、推進工法による下水道管新

設工事、河川の流域貯留施設整備工事や下水処理場の照明設備工事及び電気設備などの工事現場9か所を推進委員及び事務局が3班編成で市内一円を巡回し安全管理について確認した。

この安全パトロールによる現場点検の結果、「良かった点」「改善が必要な点」が報告された。

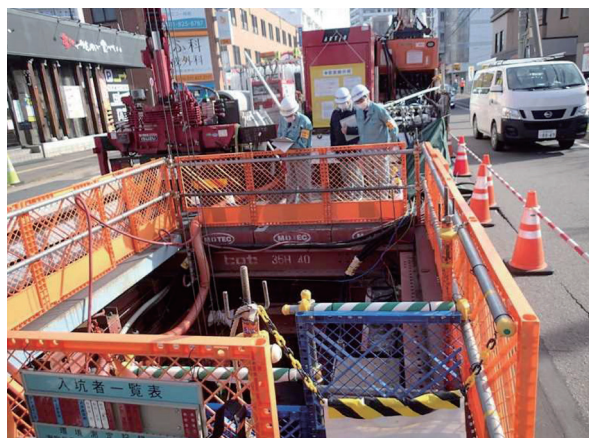
良かった点

- ・電子掲示板が見やすく、非常に良かった。
- ・工事看板や掲示物が見やすく良好であった。
- ・工事箇所と歩行者通路にネットを設置しており、歩行者の安全に配慮されていた。
- ・立坑内の配管等の整理状況が良好であった。
- ・覆工板に反射材を付け、運転手への注意喚起を行っていた。
- ・足元にLEDによる仮設照明が設置されており、安全性と作業性を兼ね備え、適切に機能していた。
- ・交通量の多い道路であるが、歩行者や車に対する交通誘導員の指導が丁寧であった。

- ・架空線注意の旗が見やすく、制限高さに単管を設置するなど工夫がされていた。

改善が必要な点

- ・資材の整理整頓にもう少し配慮されているとよい。
- ・開口部に転落防止策等があるとよい。
- ・架空線にもう少し配慮して施工するとよい
- ・作業用通路にポンプが設置されており、支障となっていた。
- ・足場組立等の作業主任者の掲示がされていない。
- ・酸欠主任作業者の表示や関与の状況が現場の見やすい場所になかった。
- ・産業廃棄物が適切に分別されていない。



令和4年現場点検より